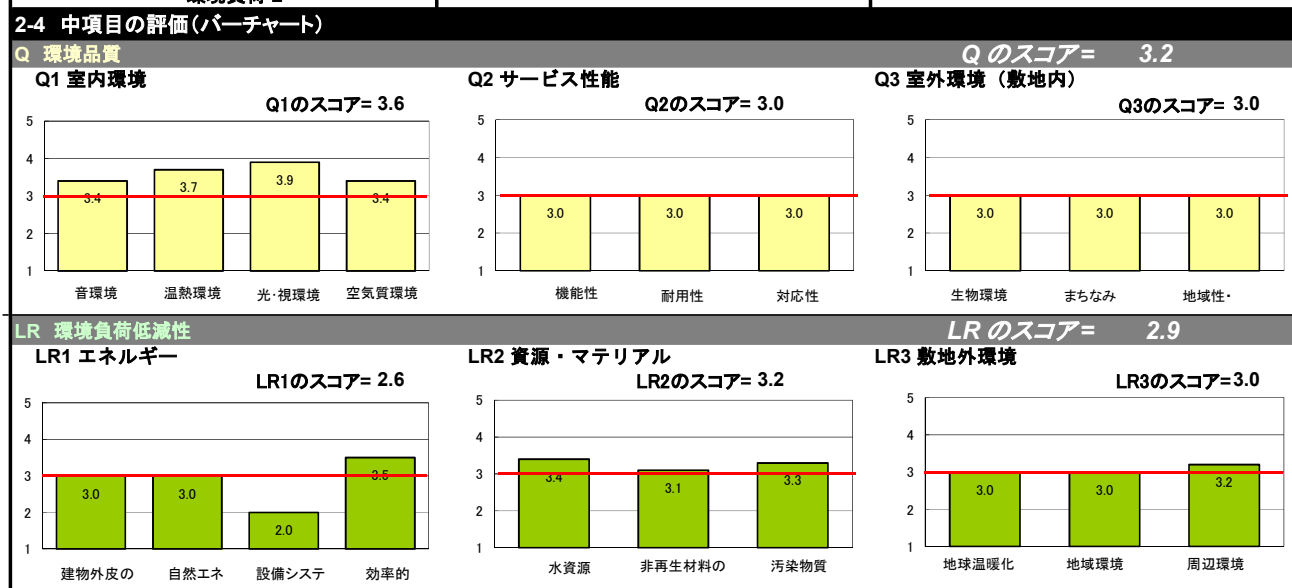
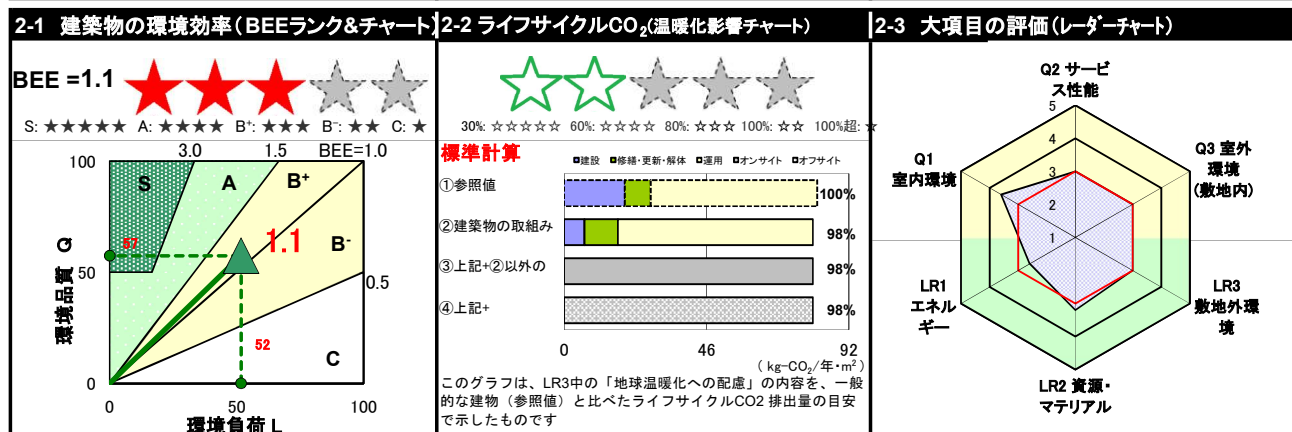


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)相模原4丁目計画	階数	地上12F
建設地	相模原市中央区相模原4丁目295番3	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	96 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年9月 予定	評価の実施日	2024年10月20日
敷地面積	441 m ²	作成者	有限会社ガラスビス設計
建築面積	224 m ²	確認日	2024年10月20日
延床面積	2,257 m ²	確認者	有限会社ガラスビス設計



3 設計上の配慮事項		
総合	周辺の住環境に配慮しながら、環境負荷の軽減に努める	その他 特になし
Q1 室内環境	防音性能を高め、室内の防音化に努める	Q2 サービス性能 バリアフリーに配慮し、建物の使いやすさを高める
Q3 室外環境(敷地内)		特になし
LR1 エネルギー	住戸内の断熱性能を高め、建物の省エネルギー化を図る	LR2 資源・マテリアル 解体時のリサイクルに配慮し、躯体と仕上材が容易に分別可能な納まりとした
LR3 敷地外環境		外部照明の増設に努め、防犯活動に協力する。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される